

■ ■ 教員養成制度改革に向けて ■ ■

神戸女子大学では、長年にわたり教員養成に力を注いでいます。最近では、平成18年7月11日付けで発表された中央教育審議会の答申「今後の教員養成・免許制度の在り方について」のなかの「教職課程の質的水準の向上」に主眼をおき、教職課程の改善・充実に向けた取り組みを進めてきました。

須磨キャンパスに平成19年度、学園教職支援センターを設置し、平成20年度から教員免許状更新講習を本実施に先駆けて開始しました。

また、ポートアイランドキャンパスの神戸女子短期大学で平成21年度から教員免許状更新講習を実施し、同キャンパスにも教職支援センターを平成23年度に設置しました。

今年度5月、新たに中央教育審議会 教員の資質能力向上特別部会から審議のまとめが発表され、全国の教員養成系大学は、教員養成改革をいっそう推し進めることが求められました。

教員養成を主たる目的として開設された文学部教育学科の現在の姿と今後の改革の方針を特集としてお知らせします。

教育学科は、昭和44年度に文学部の誕生とともに設置され、神戸女子大学でもっとも多くの卒業生を輩出してきました。現在の入学定員は165名、収容定員660名で、神戸女子大学では、もっとも多くの学生が在籍している学科です。

教育学科では、小学校教諭一種免許状、幼稚園教諭一種免許状の教員免許状が取得できます。

教育学科の開設時から、小学校教諭・幼稚園教諭を目指す学生が大多数を占め、現在も多くの卒業生が教員として小学校・幼稚園で活躍しています。

神戸女子大学では、教育学科以外の学部学科でも教員免許状の取得を目指す学生が多く、毎年、教育学科も含めて全学生の約半数が、教職課程を履修しています。

さらに、本学の大学院博士前期課程では、教職課程認定を受けており、課程認定科目の単位を取得して修了すると、一種免許状の既取得者はそれぞれの教科の専修免許状が取得できます。平成15年度には、学校教育学専攻科が開設され、1年間の修業で小学校教諭一種免許状、幼稚園教諭一種免許状の既取得者はそれぞれの専修免許状が取得できます。

「神戸女子大学の教員養成制度改革への動きについて」学長からひとこと

政府が進めようとしている教員養成制度の大幅な見直しを見越して、改革が目指している教職を目指す学生の質の保証に取り組む委員会を既に組織しました。全学科が関わる教員養成の在り方について改革の議論を深め、「教育の神女」としての期待に応える努力をして参ります。教職を目指す皆さんには、授業を通して教員の職務に求められる資質能力を確実に修得すると共に、地球的視野に立って、変化の時代に生きる社会人に求められる資質能力を、クラブ活動、ボランティア活動などの正課外の活動を通して培って欲しいと願っています。本学は、教職に対する強い情熱と、教育の専門家としての確かな力量や総合的な人間力を備えた教師を目指す皆さんを、全力を挙げて応援していきます。



神戸女子大学 波田 重熙学長

文学部教育学科

教育研究上の目的

(1) 人材養成の目的

- ① 教えるとはどのような行為であり、人間の発達とはどのような過程なのかを深く考え、また、地域に根ざした教育体験を通して人間のあり方・生き方について主体的に考えることのできる人材を養成する。
- ② 子どもの発達過程全体を対象とした教育・研究に基づいて、実践的指導力を持つ小学校・幼稚園教諭、保育士の育成及び専門的知識と幅広い教養を持つ人材を養成する。
- ③ 子どもの心がわかる保育・教育実践家として、自立心・対話力・創造性を発揮できる人材を養成する。

(2) その他の教育研究上の目的

- ① 「小学校」「幼児教育」「心理学」の3つのコースを軸としながら、コース制を超えた履修による幅広い教育・研究を行う。
- ② 乳幼児期から老年期にいたるライフサイクルの諸段階における「人間形成」にかかわる様々な課題を「科学的」「人間的」「総合的」に探究するとともに、人間と社会の在り方について広い視野を形成できる教育・研究を行う。
- ③ 様々な実習を通して、実践的指導力を養う教育を行う。

教育課程編成・実施の方針

グローバルな視野を持ち、子どもの発達過程全体を対象とした教育・研究に根ざし、実践的な指導力を持つ小学校・幼稚園の教員や保育士を育成するとともに、専門的知識と幅広い教養を持ち様々な職業分野で活躍できる人材の育成を目標にして、それらの能力の向上を図るカリキュラムを策定する。

- ① 教育学科は「小学校コース」「幼児教育コース」「心理学コース」からなり、ゆるやかなコース制をとっているため、他のコースの科目も履修することにより、教員あるいは保育士として幅広い能力の育成を目指す。
- ② カリキュラムは、学問領域としての教育学と心理学の基幹科目群に加えて、幼児教育関連科目、初等教育関連科目、心理学関連科目によって構成する。
- ③ 専門科目は、A基礎理論・研究法、B教育実践理論・指導法、C専門技術・方法に関する科目から構成し、これらを総合し、有機的な理解を深める科目として、3年生から少人数による講読・演習、卒業論文を必修科目として設定する。
- ④ 教員や保育士としての適性、意欲、資質を自己確認し、実践的な指導力を養うために、教育実習とは別に、小学校、幼稚園、地域と連携を図り、学校観察実習(スクールサポーター)、幼稚園観察実習、発達理解実習(親子通所センター)を正規のカリキュラムに連動させる。

学位授与の方針

以下の能力が身につく、学科のカリキュラムに定められた所定の単位を修得し、卒業論文の審査に合格した者に学位を授与する。

- ① 教育学・保育学・心理学の専門分野を総合的に理解し幅広い教養を身につけ、成長や発達を科学的に理解し、多角的な視点から柔軟な発想と感性から人間をとらえる力が身についている。(教育学・心理学・保育学の知識)
- ② よりよい社会をつくるために社会の有り様から教育を見直す洞察力を持ち、実践的指導力を備えている。(自立心・対話力・創造性)

『履修の手引き』より抜粋

実績

教員免許状取得者数(※1)・・・過去5年分

平成19年度卒	338人(小185人)
平成20年度卒	343人(小190人)
平成21年度卒	270人(小123人)
平成22年度卒	304人(小126人)
平成23年度卒	269人(小131人)

()内は小学校教諭免許状取得者数

※1 学部卒業生一括申請人数

教員就職実績(※2)・・・過去5年分

平成19年度卒	140人(小61人)
平成20年度卒	138人(小77人)
平成21年度卒	105人(小68人)
平成22年度卒	100人(小54人)
平成23年度卒	90人(小40人)

()内は小学校教諭就職実績

※2 数は現役学部学生(非正規含む) 平成23年度は4月現在把握数

新任の教員として活躍しています

山田 真子さん 平成24年3月 神戸女子大学文学部教育学科卒業
平成24年4月から神戸市内の小学校に勤務



◎ 小学校の先生になりたいと思った動機を教えてください

私が「先生」という職業を意識したのは、小学生の頃です。問題が分からない友達に自分が教えたことで、その子が見せてくれた「分かった」という笑顔は今でも覚えています。「小学校の先生になりたい」という思いを強めてくれたのは、大学2年生から始めた「神戸市スクールサポーター」です。活動の中で、「教師」は子どもの成長を肌で感じ子どもと共に成長の喜びを分かち合うことの出来る存在なのだ実感したからです。

◎ 教員採用試験に合格するためにどのような勉強をしましたか

私が本格的に試験勉強を始めたのは3年生の3月末と遅かったため、効率よく勉強すること、自分に不足しているものを補うということを中心に掛けていました。まずは過去問などで自分の実力を知り、事前に収集した志望する地域でよく出題される教科や分野の情報を基に、力を入れるところを絞りました。過去問とは異なる視点で問われても解けるように、試験直前はとにかく問題演習を行いました。

4年生になると採用試験に備えた演習、実技の授業が開講されるので、自分の志望地域の試験内容や自身の勉強状況に合わせて授業を履修することをお勧めします。また、教職支援センターでワークショップとして面接や集団討論の練習が行われるので、雰囲気味わうためにも一度は参加するべきです。



教職支援センターで勉強中です

◎ 卒業論文の題目とその研究した内容を小学校の先生になってどのように生かしたいですか



卒業記念祝賀会で卒業論文指導の入江 昌明教授と一緒に

卒業論文の題目は「学校教育で求められる算数教科書の在り方」です。教育現場における教科書の役割を踏まえ、学校教育で求められる算数教科書について考察しました。まだ指導の経験が少ない私には、これといって答えを追究することが出来なかったため、これからの教員生活の中で、自分なりの教科書の在り方を見つけたいと思います。

◎ どんな教員を目指したいですか

つぎの3つの教師像を目指していきたいと考えています。

- ・子どもに対する愛情を注ぎながら童心を忘れない教師
- ・様々な場面で手本となる姿勢を示すと共に責任をもつことのできる教師
- ・全ての児童に受容の精神を示す教師

子ども達の学びや気付き、可能性を広げることを大切にしていきたいです。

◎ 教員を目指す後輩の皆さんへのメッセージをお願いします

私にとって試験勉強は「自分を見つめ直す期間」でした。打ち込んだ分だけ自分に返ってきます。勉強に限らず、アルバイト、ボランティア、部活など、何かに打ち込んでください。自分の体験をどこかで話すことが出来るのが教員ですからね。自分の目指す教師像をしっかりと持って、子ども達の笑顔のために頑張ってください!!

◎ 最後に学生生活の感想をお聞かせください

学生は、しっかりと勉強することのできる最後の期間であり、自分の時間をもつことが出来る立場だったのだと今更ながら実感しています。もう一度やり直すことが出来るのであれば、もっと多くの本を読んだり、様々な場所を訪れたりしたいなと思います。でも、自分の世界を広げてくれたこの4年間の学生生活は大満足です。

得意な分野を伸ばすこと、幅広く教養を高めることで人間性を磨きます 特色ある科目や授業を紹介します

理科実験に強い教員を目指しています

「理科離れ」が進んでいるといった声が聞かれ、日本の科学技術研究や産業の基盤を揺るがす深刻な問題として、教育界のみならず産業界からも危機感が表明されるようになってきました。

神戸女子大学では、小学校教諭として必要な理科基礎実験の知識や技術が習得できるように「理科概説」「理科教育法」では実験を中心とした授業を行っています。学生は、20～25名のクラスに分かれてローテーション方式で毎週、物理・化学・生物・地学を受講しています。担当の教員は、少人数で行う実験で学生一人ひとりに行き届いた指導を行っています。



物理学分野の実験(電気の基礎実験)



化学分野の実験(固体の精製、再結晶)



生物学分野の実験(消化と酵素)

英語も教えられる教員を目指しています

平成23年度より新小学校学習指導要領が全面実施され、小学校における英語教育は「外国語活動」として設置されています。正式な教科ではありませんが、小学校における英語の指導について理解を深めておくことが求められます。「外国語活動指導法」は選択科目ですが、英語も担当できる教員を目指す学生が受講しています。

スクールサポーターやボランティア、インターンシップで学校現場での実践的な力を身につけます

神戸市、芦屋市、伊丹市、大阪市、堺市、京都市などが募集するスクールサポーターや学校ボランティア、学校インターンシップなどを通して毎年多くの学生が児童をどのように享受するかを学んでいます。

教育学科には、小学校教育コースの他に 幼児教育コースと心理学コースがあります

幼児教育コース

幼児教育や保育に重点をおいて学習・研究し、卒業後は幼稚園教諭あるいは保育士を目指す学生のためのコースです。

神戸女子大学附属高倉台幼稚園や神女中山手保育園、学内に開設されている「親子通所センター(子育て広場“あいあい”)」における実習など、実践的な授業が開講されています。

心理学コース

心理学に重点をおいて学習・研究し、心理学の素養をもとにして、心理職、教員、企業などを目指す学生のためのものです。

心理学研究の基礎となる統計法や研究法の科目、心理学の各分野を幅広く学習します。